

（目的）

町内の自然環境や生活環境などの現状を調べるとともに、町内の住民及び事業所等の環境に関する意識を調査し、環境基本計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

（実施主体）

川島町町民生活課、立正大学地球環境科学部（以下「大学」という。）

（調査の内容）

I 川島町の環境基本調査について

1 自然的・社会的特性

- 1) 位置 2) 地勢 3) 気候 4) 人口・世帯数 5) 産業構造
6) 地域経済 7) 広域交流・広域連携 8) 土地利用 9) 交通体系

2 自然環境

- 1) 農地・森林、自然景観 2) 河川・水辺 3) 動植物・生態系
4) 自然とのふれあい

3 生活環境

- 1) 大気環境 2) 水環境 3) 土壌・地盤環境 4) 騒音・振動
5) 有害化学物質 6) 廃棄物・リサイクル 7) 資源・エネルギー

4 快適環境

- 1) 公園・緑地 2) 歴史・文化的環境 3) まち美化

5 地球環境

- 1) 地球温暖化 2) その他の地球環境問題

6 環境保全に取り組むための基盤づくり

- 1) 環境教育・環境学習 2) 各主体の環境保全活動

II 環境保全に関する町民・事業者アンケート調査について

1 町民アンケート調査の概要（一般町民1,000（郵送法）、中学生200（面接法））

- 1) 川島町の環境 2) 環境問題への関心、環境保全に対する考え方
3) 日頃の環境保全に関する取り組み 4) 地球温暖化防止に関する取り組み
5) 環境保全のために事業者に見込むこと 6) 町の環境保全に関する取り組み

- 7) 環境保全活動への参加 8) 環境を守るための役割について

2 事業者アンケート調査概要（事業者245（郵送法））

- 1) 環境保全に取り組む際の障害や課題 2) 環境保全に対する考え方
3) 環境保全に関する取り組み 4) 環境保全の取り組み体制、社員教育
5) 地域との関わり 6) 環境保全に関する行政の取り組み

(実施期間)

平成25年10月1日（契約の日）から平成26年2月20日

(実施方法)

1. 環境基本調査

環境基本調査の項目について適切な調査方法にて、町と大学が相互協力のもと調査を実施する。

2. アンケート調査

アンケートの内容は、川島町環境保全審議会の意見を踏まえ町、大学双方が決定し、一般町民及び事業所については町、中学生については大学が行い、集計は大学が行うものとする。

(その他)

調査実施後、大学は、調査結果を基に次の内容について取りまとめ、報告書を作成する。

- 1 川島町の環境の特徴
- 2 川島町が取り組むべき課題